

2025年5月1日
第587号

(毎月1日発行)

咲いたネット

URL:

http://www.saitanet.or.jp

Eメール:

saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会

〒330-0063

埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-10-11 第一木村ビル

TEL 048-838-0771

FAX 048-838-0775

編集発行人

埼玉県労働組合連合会

【定価】1部50円

(組合員の購読料は組合費に含む)

113人が参加



埼玉労連は3月22日(土)、10時から、さいたま共済会館6階ホールで第52回評議会を開催しました。

当日は18単産・20地域組織の評議員65人、幹事会・その他傍聴など、全体で113人が参加し、第1号議案の「年度前半の活動の到達と教訓、後半の重点となるとりくみ」を賛成多数で可決し、役員補充選挙を行いました。

年度前半の活動経過報告・上半期決算

年度後半の運動を確認 埼玉労連第52回評議会

報告・会計監査報告があり、承認を受けた後、宍戸事務局長が第1号議案「2024年度前半の活動の到達と教訓、年度後半の重点となる取り組み」について提案、第36回定期大会で確認した4つの重点に沿って、年度前半の経験と教訓を報告しました。

各組織の討論では、22組織(文書発言含む)から発言があり、ストライキの実施と地域からの支援について、最低生計費試算調査結果を力にした25春闘での奮闘、当事者の要求をもとにした会計年度任用職員の組織化、ケアユニオンづくりに向けたとりくみ、全国一律最低賃金を実現するための運動、ジェンダー平等のとりくみの到達と各組織での運動強化の訴えなど、議案を補強する立場での発言がありました。

特に「中期5カ年計画」に関わって、組織の強化・拡大、次世代の結集に向けた取り組みなどが各組織の発言に盛り込まれており、年度後半に向けての意思統一ができる討論となりました。

討論を受けての総括答弁では、職場と地域の連携づくりを定着・前進させてき



藤田議長あいさつ

た25春闘でのとりくみを広げ、評議会で提案した年度後半の運動の実践では、来る参議院選挙に向けた改憲阻止のとりくみや全労働者の賃金底上げ実現のための25最賃闘争など、基調となる運動を組織強化・拡大につなげ、とりわけ労働組合の世代継承を進めていくための「次世代対策」と、青年・女性の活躍推進と運動への参加が共通の課題であることを共有し、とりくみを前にすすめていくことが確認されました。

また今評議会で、田中ふじ江幹事と舟橋初恵幹事が退任し、役員補充選挙で、埼教組の斉藤恵子さんが幹事に選出されました。

紙面から

■第52回評議会

(1面~2面)

■ピースフェスタ80

(5面)

■建交労トラック部会宣伝

(3面)

■埼玉県からの検診受信案内

(7面)

■医労連ストライキ支援

(4面)

■埼労共のページ

(8面)

第52回評議会の様子

活発な討論が行われた第52回評議会の様子と、退任役員・新役員を紹介します。

組織増勢で9月の大会を迎えられるよう、各加盟組合からの協力をお願いします。

年度後半のとりくみの前進で、頑張りましょう。



討論（埼玉土建）



生計費体験を決意



議案を採択



討論（医労連）



斉藤新幹事

【新役員】
よろしく
おねがいします



舟橋幹事



田中幹事

【退任役員】
おつかれさまでした



鴻沼分会

「賃金、休み、人員をもっと増やして」という声とともに、「春闘に向けてがんばろう」と氣勢をあげました。

福祉保育労働組合本部は各職場の分会が3月13日の25春闘統一行動で、各分会での小集会の開催や、ワッペンシールをつけるなどの取り組みを集約しました。

全国統一行動日に各職場が決起



こぐま保育園分会

こぐま保育園は、横断幕をつけ、ワッペンシールをつけ保育しています。

鴻沼分会は久しぶりに分会として統一行動に取り組みました。それめや共同作業所とホームです。それめやは弁当の配達職員が退職、12時まで各施設に弁当を届けなければならぬので大変。ホームもコロナの時は防護服を着て仲間の支援に当たりましたが、落ち着いてからも日常的な通院支援は増える一方で人手不足です。

そのほか、こぐま保育園分会ふじみ野保育園は、シールを貼ってアピール活動しました。

（福祉保育労発）

これから組合を担う人材育成 ユニオンスクール開催(自治労連)

自治労連埼玉県本部は4月12日(土)、「ユニオンスクール」を開講しました。組合活動のこれらを担う人材育成を目的に、全6回の講座を開く1回目です。この日は単組の若手を中心に9人が参加。自治労連の基本学習テキストを読み合わせ、討論で深め、学び合います。

はじめに各自の参加動機について交流。「普段は目の前のことでいっぱいだけど、世の中のことを組合員に分かりやすく説明できる

ようになりたい」、「去年単組役員になったばかり。執行委員は意思決定をする大事な役なので自分の意見を持ちたいと思った」など様々に語られました。

テキストに書かれていた「労働者は一定の時間だけ『労働力』を売るのであって24時間雇用者に管理されているわけではありません」との記述をめぐり、「最近自分のスマホに時間外でも連絡が来るから、24時間管理されるようなものではないか」といった疑問が。さらに「労働者は一人では労働条件を決められない」との記載には、「バースデー休暇とか自分たちが思いつかない要求が職場から出てくる」、「『労働条件を一人で決められない』って、要求を一人では決められないって意味もあるね」といった話の展開に。

テキストに学びつつ、時々ツツコミも入り、新しい発見が連続する面白い講座になる予定です。

(自治労連県本部発)

トラック部会が宣伝(建交労)

建交労埼玉県本部トラック部会は全国トラック部会の組織拡大宣伝行動日である4月4日(金)、大宮駅東口、北朝霞駅前ロータリー、浦和駅西口で宣伝行動を実施し、役員6人が参加しました。

天候にも恵まれ、気持ちの良い宣伝行動になり、3カ所それぞれ1時間の予定でしたが、チラシ入りティッシュの受け取りが良く、準備した1000セットのうち大宮駅だけで半分がなくなりました。

大宮駅東口にはコープネットグループ労組から2人、浦和駅西口には全労連・全国一般から2人、埼労連事務局から2人が支援に駆けつけました。

宣伝では、この間の経験を生かし、何の宣伝をしているか一目でわかるようにA0版のポスターを作成し、宣伝カーの前にも貼り出しました。

蓮田地域に10番目の支部を結成

全労連・埼玉ユニオン蓮田支部

全労連・埼玉ユニオン(SU)は3月29日(土)、県内10番目の支部として蓮田地域支部を結成しました。

当日は午後2時から蓮田市農業者トレーニングセンターで組合員6人、県執行委員会から委員長、書記長をはじめ総勢19人が集まり結成大会を開きました。

市内の明治牛乳販売店で働く仲間たちが労働環境をよくするため

団交を続けていますが、蓮田支部結成は大きな励みになります。また、蓮田地域で労働相談の窓口ができたことにもなり、大きな一歩になります。

結成大会の議案はすべて承認され、当面、明治牛乳販売店での諸課題の解決、駅頭宣伝、学習を重点に行動することを確認し、支部長をはじめ支部役員体制も確立しました。

10番目の支部結成



若年役員と交流



浦和駅での宣伝

準備したチラシ入りティッシュは全て配りきりました。

医労連の各職場でストライキ 単産や地域も支援にかけつける

埼玉民医労

埼玉医労連の埼玉民医労は3月26日(水)に25春闘で再回答を求める第3回中央交渉を行いました。第2回中央交渉で回答のなかった、夏期一時金回答は1・0ヵ月と回答したが、他のいくつかの回答を含めて、労働組合として納得ができないと参加者と中央執行委員で交渉継続を判断。翌日27日(木)始業1時間のストライキを決行しました。



出入口で宣伝



藤田議長が激励あいさつ

ストライキは埼玉民医労の14支部から74人が参加しました。

埼玉協同病院・ふれあい生協病院、老健いぬま、本部の支部で合同ストライキを実施。スト集会を30分行い、埼玉連から山崎幹事、県医労連から藤田書記長(埼玉連議長)が応援に駆けつけ、激励のあいさつをしました。中央執行委員長が前日の交渉について、参加者からは回答への受けとめを発言してもらい、「生活の困窮」「働き続けられる職場を守るため」に交渉を行うことを確認しました。その後は「安心・安全の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める」国会請願署名をスト参加

者で30分行い、163筆集まりました。

埼玉民医労は、職場討議を強め、22支部で交渉を行います。

前進回答を勝ち取るため団結を強めていきます(4月15日の交渉で妥結)。

JCHO労組

埼玉医労連加盟のJCHO(旧・社会保険病院)労組2支部(さいたま北部医療センター、埼玉メディカルセンター)は、全国のJCHO労組とともに、機構本部が「2024年度のベースアップは見送る。2025春闘要求にも回



さいたま北部医療センター



埼玉メディカルセンター

答できない」という、かたくな姿勢に抗議して、4月16日(水)朝8時30分から始業時28分のストライキに決起しました。

JCHO労組本部は、14日に中央団交を実施。全国で職員は一生懸命働いて、患者・利用者を守っているうえ、物価高騰で生活が苦しい、機構本部にはお金があるのだから、職員のため、地域医療・看護・介護などを守るためベースアップを決断すべきと主張しましたが、機構本部は耳を傾けず、「いくら話しても回答は変わらない」と言って席を立って退出し団体交渉が決裂したため、16日にストライキを決行したものと

です。

当日は、当該労組の組合員のほかに、北浦和の埼玉メディカルセンター前には、県医労連と埼玉民医労、建交労、コープネットグループ労組、全労連・全国一般、JMITU、さいたま地区労、埼玉連から仲間が支援に参加し、さいたま北部医療センターには、県医労連、全労連・全国一般、JMITU、埼玉士建さいたま支部、さいたま地区労から仲間が支援に駆けつけ、激励しました。

私たちの命と健康を守ってくれる医療労働者が安心して働ける職場環境を作っていくために、今後とも支援をしていきます。

平和のとりくみを未来へつなぐ ピースフェスタ80が開催される

3月23日(日)、午前10時から午後4時まで浦和駅東口のパルク前で「ピースフェスタ80」が開催されました。

「生計費体験スタート集会」として顔合わせと説明会をおこない、13人が参加しました。

取り組みは民青同盟の青年にも

チャレンジを呼びかけています。

「戦後・被爆80年 若者への平和の継承」をテーマに取り組み、3人くらいがエントリー予定との報告があり、埼労連の仲間からは「標準生計費額が低すぎることを明らかにしたい」、「仲間と励まし合って取り組む」など決意が語られました。

午前10時30分からはブース脇で

「青年の主張」宣伝を開催。埼

みんなの力で大きくしよう! 埼玉県平和委員会

〒330-0063さいたま市浦和区
高砂2-3-10 浦和ビル3階
電話 048-711-4434
FAX 048-711-4555
2024年度版 部内資料
2025年3月25日 第120号

速報

プラスバンドの演奏で盛大にオープニング

躍動的な書道パフォーマンス



若者たちとともに創る新しい平和の祭り

ピースフェスタ80に1500人余



魅力的なアイスの作り 大きな折り鶴完成 勇壮な交際の演習



埼玉県平和委員会のメールアドレス saitama.heiwa@siren.ocn.ne.jp



浦和駅で青年の主張

労連(医労連、自治労連、SU、さいたま地区労、非正規部会)のほか民青同盟、うたごえの仲間など約40人が参加しました。

青年の主張では、低すぎる最低

賃金、医療労働者の低賃金や高額

な学費問題などを訴え、全労連青

年部の仲間も駆けつけ、辺野古の

新基地建設の問題を含む平和の取

り組みが報告されました。主張の

合間に「最賃音頭」をはさみ、元

気な宣伝になりました。

フェスタでは、高校生によるプ

ラスバンド演奏や書道パフォーマンスなど、

青年が積極的に関わって

くれて、「若者たちへの平和の

継承」を目的とした企画に沿った

とりくみとなりました。

新しく着任された先生たちへエール 埼高教が新任式宣伝行動

4月2日(水)、さいたま市民会館おおみや(レイボック・ホール)で県立学校教員新任式が行われました。

真冬のような寒さと冷たい雨の中でしたが、

埼高教は12人の組合

員が参加して「埼高教宣伝行動」

を行いました。

宣伝では、緊張した面持ちの青

年が、前日に職場で行われた分会

からの「訴え」をした分会長の顔

を見つけ「着任おめでとうござい

ます!」、「昨日はありがとうご

ざいました」と笑顔で言葉を交わ

しました。

「無事、正採用になりました

!」と元気いっぱいであいさつし

てくれたのは、埼高教の「採用試

験対策講座」に長年通い続け、苦

節●年で合格した先生です。

「宣伝行動」は、温かい出会い

と「つながり」、信頼関係を築く

場でもあります。「学校は子ども

たちにとって『安心』と『希望』

の場でなければなりません。その

ため私たちは、子どもたちに夢と

希望を、そして『平和』の大切さを語り続けなければなりません。さあ、希望の春!一緒に希望にあふれる学校づくりをすすめましょう!」(当日、手渡した「歓迎」グッズの「委員長からの手紙」より)。とはいえ、学校と教育をめぐる様々な困難があるのも事実です。でも、大丈夫!「困ったら埼高教がある!」と新年度も頑張ります。

(埼高教発)



会場で宣伝

家族世帯と年金世帯の合意づくり 最低生計費合意形成会議

4月12日(土)午後1時から埼玉会館にて最低生計費の複数世帯(家族世帯)などの結果を出すために重要な合意形成会議をおこないました。

は、5単産・1地域組織から13人が参加しました。

第1部の会議は前回(2016年時)出せなかった高齢者世帯になります。今回、60〜70代のアンケート結果から、「単身者」と

監修をお願いしている中澤秀一准教授(静岡県立短期大学部)を招き、午後2つの会議を順に開催する強行日程でしたが、第1部(高齢者世帯)の会議にはオンラインを併用し、3単産・4地域組織から11人が参加。第2部(複数世帯・30代〜50代の家族世帯)に

ない。夫婦の方は70代(夫73歳、

2025年4月17日(木) 第43号
最賃署名・生計費調査とくみ推進ニュース
集約目標 「最賃今すぐ1500円(署名10万筆(2月〜6月))
要求前進へ 対話を広げ、仲間と目標数をやりきろう」
発行：埼玉労連最賃実効的公正化委員会 電話 048-638-0771

最低生計費調査 家族世帯の試算・分析スタート 一複数世帯・年金受給世代の合意形成会議を開催

◆高齢者世帯では、単身と夫婦の2パターンを検討

4月12日(土)13時から埼玉会館にて最低生計費の複数世帯(家族世帯)などの結果を出すために重要な合意形成会議をおこないました。監修をお願いしている中澤秀一准教授(静岡県立短期大学部)を招き、午後2つの会議を順に開催するハードな内容でしたが、第一部(高齢者世帯)の会議にはオンラインを併用し、3単産・4地域組織から11人が参加。第二部(複数世帯・30代〜50代の家族世帯)には、5単産・1地域組織から13人が参加しました。

第一部の会議(写真部)は前回(2016年時)には出せなかった高齢者世帯になります。今回、60〜70代のアンケート結果から、「単身者」と「夫婦のみ」の2つのパターンについて結果を出す予定にしています。集約数がないので参考値になりますが、それぞれのモデルについて検討し、単身者は70代の女性で「さいたま市」に居住し車は持たない。夫婦の方は70代(夫73歳、妻70歳)で「さいたま市」に居住し軽自動車を持っています。その後、持ち物などを確認し、前半の会議を終えました。



◆複数世帯(家族)の会議ではさらに2班に分かれて意見交換

第二部の会議では、30代〜50代の複数世帯について議論しました。30代は、夫婦と小学生、保育園児の4人家族。40代は、夫婦と中学生、小学生の4人家族。50代は夫婦と大学生、高校生の4人家族をモデルとして議論をスタートしました。いずれも前回と同じ「さいたま市緑区」在住で車を所有することと設定。家族のスタイルに合わせ、内容を煮詰めるために30〜40代のチームと50代のチームの2班にわかれて、詳細な中身を意見交換しました。

50代のチームでは、持ち物一つ一つに意見が分かれる場面が多々ありました。アンケートでも7割に到達していませんが、「長靴は持ってる?」に対し、「持っているけどほとんど出番が無い」とか、「パジャマは子どもの分はあっても、自分のものは無い?」など議論。どの世代もノートパソコンは持たせていますが、世代の違いもあらわれ、30〜40代は「USBはほとんど使わないよ」として中、50代は「使ってますよ」。あるいは、7割には届いていないけれど50代は「血圧計は持っているね、日々測っているよ」と日常が垣間見えしました。

参加者から、「合意形成会議は、こういうことを話し合う会議なんだね。大事だね」とや「生活感が出ているね」となど終始笑いが飛び交う会議になりました。

今後、結果を踏まえた価格調査をすすめ、複数世帯の結果を最賃審議会に間に合わせる予定です。(埼玉労連発)

●全労連最賃ピグオ(埼玉労連の生計費調査・価格調査の補助あり)の活用を! →



学んだ拡大を实践(飯能日高)

飯能日高地労連は昨年12月、全労連事務局長の黒澤事務局長を講師に招き「組合とは何ぞや?」と題し学習会を開催しました。そこでは「仲間増やしは、対象者の要求を引き出し、それを解決するために一緒に考えよう。組合に入って一緒に解決していこう」というスタンスで取り組むことが重要であることを学びました。それをきつて実践したのが福

社保育労日和田会分会でした。「障がい者検討会議が重なりレポート作成に追われている。この負担をどうにかできないか」と要求が一致。黒澤学習会で学んだ中身を生かして声をかけたところ加入に結びつきました。対象者の目の前に仕事の負担軽減という要求が出たタイミングで黒澤さんの話があったと嬉しい報告がありました。

日和田会分会では、その後も2人の加入に結びつけ、この成功体験が分会内だけでなく、地労連のなかにも明るい雰囲気をもたらしています。

(飯能日高地労連発)



妻70歳)で「さいたま市」に居住し軽自動車を所有としました。その後、持ち物などを確認し、前半の会議を終えました。

第2部の会議では、30代〜50代の複数世帯について議論しました。30代は、夫婦と小学生、保育園児の4人家族。40代は、夫婦と中学生、小学生の4人家族。50代は夫婦と大学生、高校生の4人家族をモデルとして議論をスタートしました。いずれも前回と同じ「さいたま市緑区」在住で車を所有することと設定。家族のスタイルに合わせ、内容を煮詰めるために30〜40代のチームと50代のチームの2班にわかれて、詳細な中身を意見交換しました。

50代のチームでは、持ち物一つ一つに意見が分かれる場面が多々ありました。アンケートでも7割に到達していませんが、「ミシンはどう?」長靴は持ってる?」に対し、「持っているけどほとんど出番が無いな」とか、「パジャマは子どもの分はあっても、自分のものは無いな」など議論。どの世代もノートパソコンは持たせていますが、世代の違いもあらわれ、30〜40代は「USBはほとんど使わないよ」として中、50代は「使ってますよ」。あるいは、7割には届いていないけれど50代は「血圧計は持っているね。日々調べているよ」と日常が垣間見えしました。

参加者から、「合意形成会議は、こういうことを話し合う会議なんだね。大事ですね」とや「生活感丸出しになるね」など終始笑いが飛び交う会議になりました。

今後は、今回の会議の結果を踏まえた追加の価格調査をすすめ、複数世帯の結果を今年の最賃審議会(7月〜8月)に間に合わせる予定です。

教職員の多忙化解消へ

全国一斉定時アクション

新年度がスタートしましたが、欠員のままの学校が続出。「このままでは学校がもたない」、それが私たち教職員の実感です。

そんななか4月10日（木）に衆

議院本会議で給特法「改正」案が上程され、審議が始まりましたが、その中身は私たちの願いと真逆です。時間外手当支給の制度は創設せず「定額働かせ放題」はそのまま。多忙化解消に最も重要な教職員の増員には背を向け、わずかばかりの教職調整額アップと引き換えに諸手当を削減。そのうえで新たに「主務教諭」を新設し、教職員の管理体制を強める内容で、もしこのまま可決されるのであれば教職員の多忙化は一層強まり、学校にとつて最も大切な教職員のチームワークが破壊されることは明らかです。

埼玉県は、4月16日（水）、全県の提起する「全国一斉定時アクション」に取り組みました。全県の分会が一斉に職場で「つどい合い・語り合い」を開催し、埼玉教本部と各職場がオンラインでつながり、小野委員長がまず情勢報告。その後、榎本書記長による給特法「改正」案の問題点についてのミニ学習会。さらに18日（金）に文教科科学委員会の傍聴と議員要請行動に参加する深津書記長の決意表明。すでに「全力疾走」の学校現場のなかで、3回目となる今回の「定時アクション」も、



埼教組と合同で宣伝

しこのまま可決されるのであれば教職員の多忙化は一層強まり、学校にとつて最も大切な教職員のチームワークが破壊されることは明らかです。



県内各職場からオンライン参加

「ほっと一息」タイムであると同時に、何よりも仲間との団結を深めあう時間に。オンラインでつながった「画面」は、仲間たちの笑顔であふれました。

アクション終了後、本部専任役員は、埼教組の仲間とともに浦和駅東口で街頭宣伝。私たちの訴えに多くの方が耳を傾け、署名板の前に行列ができる場面も。運動を広げに広げ、必ず給特法「改正」案を廃案に！たたかうなかで仲間を！その決意を固め合いました。埼玉教は4月以降、43人が加入しています。

（埼玉教発）

がん検診の受診で健康維持

埼玉県は、労働者の健康増進のため「がん検診」の受診率向上を目指しています。がんは日本人の半数がかかるといわれていますが、今の医学では早期に見えれば「治せる」病気です。年に一度はがん検診を受信しましょう。事業所でも従業員の健康維持のため、がん検診を促進して、安心して働ける職場環境を実現しましょう。

また、今年は、「骨髄バンク」のドナー登録とあわせて事業所に對して「ドナー休暇制度」の導入

も呼びかけられています。骨髄提供に際して10日間程度、医療施設に通う必要があるため、提供を断念する方もいます。そのため、安心してドナーに登録できるよう協力を呼びかけるものです。

埼玉県では、ドナー登録者の骨髄提供時の助成制度もあります。各市町村で対象や金額が異なるのでご確認ください。

各問い合わせ先は 埼玉県保健医療部疾病対策課まで（詳しくは埼玉県HPで確認を）

企業・学校のご担当者様



ドナー休暇制度導入のご検討を お願いいたします

骨髄バンクのドナーとして提供いただくには、検査や入院のために10日間程度、医療施設にお越しいただく必要があります。お仕事の休みがとれず、提供を断念する方は少なくありません。



他人間でドナーが見つかる確率は、数百から数万分の1。希望する患者さんの二人に一人しか、移植が受けられない現実があります。

ドナー休暇制度は、ドナー自身の有給休暇を使わず、会社が特別休暇として認める制度です。ドナーが安心して提供に進められるよう、ぜひご協力をお願いします。

★ご検討いただける場合、骨髄バンク担当者から直接ご説明いたします。どうぞお気軽にお声がけください。

《ドナー休暇制度担当者連絡先》
TEL:03-5280-1789（平日9:00～17:30）
e-mail:kouhou@jmdp.or.jp

ドナー休暇制度の詳細は、URL又はQRコードをご確認ください。
<https://www.jmdp.or.jp/donation/donorsupport/donorleave.html>



埼玉映文協・5月の上映と今後の案内

5月の上映

は「リトル・ダンサー」です。

バレエダンサーを夢見る少年ビリーが偏見や環境に負けず夢に突き進む物語。踊ることは自分を表現する手段。



【日程】
2025年5月27日（火）
埼玉会館小ホール

① 10時30分

② 14時

③ 18時30分

2000年公開のイギリス映画で、日本アカデミー賞・最優秀外国作品賞受賞作品です。

*埼玉労共専用当日精算券のご利用の場合900円で鑑賞できます。
※今後の上映予定

6月24日（火）

「待タイムスリップ」

7月28日（月）

「劇場版 アナウンサーたちの戦争」

（詳しくは、埼玉映画文化協会のHPをご覧ください）

全労連共済 年金共済

全労連共済の「年金共済」は、貯蓄型保険のため資産形成に役立ちます。特に若いうちから利用すると将来の備えになります。教育資金にも使えて税金の控除対象にもなります。

全労連共済のホームページで、イメージしやすいシミュレーションもおこなえます。4月の新勤期に新採用者の皆さんへ、労働組合への加入お誘いのツールとして活用してください。

【全労連共済 年金共済】

全労連共済

TOP 全労連共済とは 全労連 経緯 動画 アクセス

年金共済 シミュレーション

コース	選択
加入年齢	40歳 (※1)
性別	選択
年金受取開始地	65歳 (※2)
加入期間	25 年 (※3)

※1 加入年齢
Aコース：20歳～29歳
Bコース：30歳～39歳
Cコース：40歳～49歳
Dコース：50歳～59歳
Eコース：60歳～69歳
Fコース：70歳以上

※2 年金受取開始地
Aコース：加入年齢・11歳以上
Bコース：加入年齢・11歳以上
Cコース：加入年齢・11歳以上
Dコース：加入年齢・11歳以上
Eコース：加入年齢・11歳以上
Fコース：加入年齢・11歳以上

※3 加入期間
Aコース：20歳～29歳
Bコース：30歳～39歳
Cコース：40歳～49歳
Dコース：50歳～59歳
Eコース：60歳～69歳
Fコース：70歳以上

計算はいつでも？ いくら年金もらえる？ いくら貯めたい？

能登地震被災者へ「お米」を送る

能登地震被災者へ

支援として、埼玉県産の「お米」送りました！

4月7日に開催された「全労連・能登半島地震支援対策本部拡大会議」に参加した際に、石川県労連から被災地の現状と課題の報告と要望が出されました。埼玉労連・埼玉県労働者福祉共済会は、3月末まで取り組んできた支援カンパを活用して一番喜ばれるということ



で、埼玉農民連の協力のもと4月16日に「お米」（3kg・65袋）を羽咋にある被災者支援共同センター内の石川対連現地事務所へ送りました。

フードバンク

第109便

3月後半から4月にかけてのフードバンク活動は、SUからインスタントコーヒー、清涼飲料水が提供され、4月9日（水）にフードバンク埼玉に第109便として届けました。今回は9・75キログラムでした。



フードバンク第109便